



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 野村マイクロ・サイエンス株式会社  
コード番号 6254 URL <http://www.nomura-nms.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 横川 收  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 日向 潤

TEL 046-228-5195

四半期報告書提出予定日 平成27年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	2,212	△2.3	△249	—	△204	—	△198	—
27年3月期第1四半期	2,263	△17.6	△446	—	△463	—	△333	—

(注)包括利益 28年3月期第1四半期 △128百万円 (—%) 27年3月期第1四半期 △188百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	△22.33	—
27年3月期第1四半期	△37.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭		
28年3月期第1四半期	14,596	—	7,081	—	48.1	789.56		
27年3月期	14,279	—	7,208	—	50.0	804.07		

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 7,016百万円 27年3月期 7,145百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,452	17.4	△343	—	△374	—	△352	—	△39.65
通期	14,097	16.4	180	—	121	—	58	—	6.59

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期1Q	10,152,000 株	27年3月期	10,152,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期1Q	1,265,035 株	27年3月期	1,265,035 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	8,886,965 株	27年3月期1Q	8,886,965 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2.「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策、原油価格下落の影響等を背景に、企業収益や雇用・所得環境の改善等により緩やかな回復基調が続いている一方、原材料価格の上昇や中国経済の成長鈍化、欧州の債務問題など、一部に景気の下振れ懸念がある状況が続きました。

当社グループの業績に影響を及ぼす半導体業界は、Semiconductor Equipment and Materials International (SEMI) が発表した2015年第1四半期の半導体製造装置出荷額は、半導体プロセスの微細化に伴う設備投資の増加等から日本、韓国で増加した一方、台湾、アメリカではロジックメーカーの投資抑制の影響からマイナスとなり、全地域では前年同期比6%減の95億2千万ドルとなりました。また、液晶関連企業は、スマートフォン用、テレビ用ともに大画面化が進展していることから生産ラインの高稼働率を維持しているものの、中国での大型投資の一巡から、先行きの供給過剰が懸念される状況となりました。

このような状況下、当社グループは海外では半導体・液晶関連企業、国内では製薬関連企業を中心に積極的な営業活動を展開する一方、一昨年参画した中国貴州省の浄水・汚水処理事業の第1期工事を推し進め、本年度からの事業開始に向けた取り組みを進めてまいりました。

水処理装置につきましては、国内の製薬関連企業や韓国の半導体及び液晶関連企業の受注済み超純水製造装置並びに台湾の液晶関連企業の受注済み廃水回収装置の工事が進捗いたしました。一部案件の工事進捗の遅れ等により、売上高は9億6千4百万円(前年同期比26.2%減)となりました。また、メンテナンス及び消耗品につきましては、国内においては小型機器・消耗品、アメリカにおいては半導体関連企業からの消耗品等の受注により、売上高は11億4千6百万円(同34.5%増)となり、その他の事業は、ポリエチレン継手の受注減少等により、売上高は1億円(同2.3%減)となりました。

利益面につきましては、水処理装置の利益率改善とメンテナンス及び消耗品の売上構成比が増加したことにより、売上総利益率が前年同期比9.1ポイント改善いたしました。また、営業利益段階での黒字には至らず営業損失となり、為替差益3千5百万円を含む営業外収益5千4百万円を計上いたしました。経常損失及び親会社株主に帰属する四半期純損失となりました。

以上の結果、売上高は22億1千2百万円(同2.3%減)、営業損失は2億4千9百万円(前年同期は4億4千6百万円の営業損失)、経常損失は2億4百万円(前年同期は4億6千3百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億9千8百万円(前年同期は3億3千3百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する説明

当第1四半期末の総資産は、前連結会計年度末に比べて3億1千7百万円増加し、145億9千6百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1億7千1百万円、仕掛金が5億3百万円、有形固定資産が1億1千4百万円それぞれ増加した一方で、受取手形及び売掛金が5億7千3百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて4億4千4百万円増加し、75億1千5百万円となりました。これは主に、短期借入金2億4千4百万円、流動負債のその他が2億6千8百万円それぞれ増加した一方で、支払手形及び買掛金が7千1百万円、未払金が6千6百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

また、純資産については、前連結会計年度末に比べて1億2千7百万円減少し、70億8千1百万円となりました。これは主に、為替換算調整勘定が3千8百万円増加した一方で、利益剰余金が1億9千8百万円減少したこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、平成27年5月14日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,517,513	4,688,557
受取手形及び売掛金	4,076,168	3,502,368
商品及び製品	67,358	89,351
仕掛品	599,278	1,102,634
原材料及び貯蔵品	198,704	204,929
その他	719,734	742,959
貸倒引当金	△33,534	△37,849
流動資産合計	10,145,223	10,292,950
固定資産		
有形固定資産	2,904,734	3,019,076
無形固定資産		
のれん	7,998	6,665
その他	23,639	22,299
無形固定資産合計	31,638	28,964
投資その他の資産	1,197,595	1,255,703
固定資産合計	4,133,968	4,303,744
資産合計	14,279,191	14,596,695
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,383,897	1,312,286
短期借入金	3,669,000	3,913,982
未払金	632,793	566,285
未払法人税等	44,455	29,520
製品保証引当金	154,406	149,639
工事損失引当金	6,570	13,823
賞与引当金	122,269	176,426
役員賞与引当金	4,749	22,093
資産除去債務	63,255	63,255
その他	466,727	735,439
流動負債合計	6,548,126	6,982,752
固定負債		
退職給付に係る負債	55,646	58,641
役員退職慰労引当金	148,960	154,443
損害賠償引当金	68,569	64,126
資産除去債務	14,685	14,730
その他	234,476	240,433
固定負債合計	522,338	532,376
負債合計	7,070,465	7,515,128

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,236,800	2,236,800
資本剰余金	2,011,694	2,011,694
利益剰余金	2,594,309	2,395,850
自己株式	△606,603	△606,603
株主資本合計	6,236,200	6,037,740
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	92,518	123,874
為替換算調整勘定	817,083	855,238
その他の包括利益累計額合計	909,601	979,113
新株予約権	54,776	56,540
非支配株主持分	8,148	8,172
純資産合計	7,208,726	7,081,566
負債純資産合計	14,279,191	14,596,695

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	2,263,882	2,212,275
売上原価	1,950,054	1,703,907
売上総利益	313,827	508,368
販売費及び一般管理費	760,467	757,569
営業損失(△)	△446,640	△249,201
営業外収益		
受取利息	2,742	3,995
受取配当金	5,126	5,352
受取家賃	6,528	4,723
為替差益	—	35,377
その他	1,192	5,261
営業外収益合計	15,590	54,710
営業外費用		
支払利息	9,762	8,298
為替差損	22,139	—
持分法による投資損失	379	136
その他	503	2,031
営業外費用合計	32,784	10,466
経常損失(△)	△463,834	△204,958
特別利益		
投資有価証券売却益	2,646	—
受取保険金	—	7,691
特別利益合計	2,646	7,691
特別損失		
固定資産除却損	—	34
特別損失合計	—	34
税金等調整前四半期純損失(△)	△461,188	△197,301
法人税等	△127,696	1,288
四半期純損失(△)	△333,491	△198,590
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△76	△130
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△333,414	△198,459



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純損失(△)	△333,491	△198,590
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,399	31,356
為替換算調整勘定	133,146	37,909
持分法適用会社に対する持分相当額	△237	401
その他の包括利益合計	145,308	69,666
四半期包括利益	△188,183	△128,923
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△188,040	△128,947
非支配株主に係る四半期包括利益	△142	24

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	日本	アジア	アメリカ	計	
売上高					
外部顧客への売上高	1,508,038	755,716	127	2,263,882	2,263,882
セグメント間の内部売上高又は振替高	126,418	64,542	—	190,960	190,960
計	1,634,456	820,259	127	2,454,843	2,454,843
セグメント損失(△)	△287,309	△140,258	△19,071	△446,640	△446,640

(注) セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	日本	アジア	アメリカ	計	
売上高					
外部顧客への売上高	1,169,551	901,427	141,295	2,212,275	2,212,275
セグメント間の内部売上高又は振替高	202,235	154,800	—	357,036	357,036
計	1,371,787	1,056,228	141,295	2,569,311	2,569,311
セグメント利益又は損失(△)	△168,986	△99,802	19,587	△249,201	△249,201

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。